恵方巻で「口福」に

立春とは名ばかりの厳しい寒さが続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

昭和クラブでは二月の恒例行事、手作りの恵方巻を利用者様と頂きました。

今年の恵方「南南東」を向いて、願いごとをしながら美味しく頂きました。

恵方巻の恵方はその年の一番良い方角のことで、歳徳神と呼ばれる神様がいることと言われています。

手作りの恵方巻は利用者様に見守られながら作りました。

恵方巻は職員の手作りでしたが、昭和クラブでは調理レクリエーションを取り入れています。

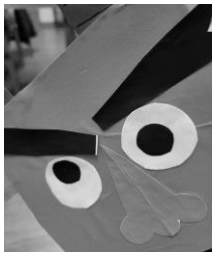
利用者様に「楽しい」と感じてもらいたい気持ちを前向きにしてもらうことが目的としています。

作業中は色々な調理器具を使用するため、手や指を動かすと心と体に良い刺激を与えてくれます。

おやつには一日三回の食事だけでは補いきれない栄養を確保し、「食べたい」という気持ちを引き出す「捕食」としての効果が期待できると言われています。

レクリエーションの調理の日が楽しみです。

次のおやつ



昭和クラブ通信

昭和98年2月号

デイサービス昭和クラブ

住所：熊本市南区城南町下宮地429-1

電話：0964-27-5963

事業所番号【4390103028】

https://lifecareclub.info

～由来～

江戸時代後期～明治時代に「幸運を願って食べた」説から、江戸時代後期から明治時代初期にかけて、商売繁盛・無病息災・家内円満などを願ってようになったのが、恵方巻の起源とする説もあります。

この説は、大阪の商業組合が商品宣伝のために作成した広告から生まれたと言われています。

広告には「恵方を向いて無言で丸かぶりすると幸運に恵まれる」と書かれていて、まさに現在の恵方巻のイメージを表す内容だったそうです。

～二月三日～

今月の行事